



TITLE:

計量経済学 - 方法と体系(Abstract_要旨)

AUTHOR(S):

柴山, 幸治

CITATION:

柴山, 幸治. 計量経済学 - 方法と体系. 京都大学, 1964, 経済学博士

ISSUE DATE:

1964-12-22

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/211397>

RIGHT:

【 14 】

氏 名	柴 山 幸 治 しば やま こう じ
学 位 の 種 類	経 済 学 博 士
学 位 記 番 号	論 経 博 第 5 号
学位授与の日付	昭 和 39 年 12 月 22 日
学位授与の要件	学 位 規 則 第 5 条 第 2 項 該 当
学 位 論 文 題 目	計 量 経 済 学 — 方 法 と 体 系 —
論文調査委員	(主 査) 教 授 青 山 秀 夫 教 授 佐 波 宣 平 教 授 中 谷 實

論 文 内 容 の 要 旨

本書はマルクス経済学の貢献を摂取しつつ計量経済学の体系的構成の全体を説明せんとするものである。

全体は

- 第Ⅰ部 序 説
- 第Ⅱ部 モデル・ビルディング
- 第Ⅲ部 経済構造の推定
- 第Ⅳ部 理論の実証

の4部より成るが、第Ⅰ部においては、計量経済学の輪郭を、その歴史的由来を附して、概説し、第Ⅱ部においては、計量経済学の理論的武器たるモデルを具体的に説明し、第Ⅲ部、第Ⅳ部においては、その検証のための統計解析技術を論じている。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

現在急速に発展しつつある計量経済学に関して周到なる説明をこころみ、さらに、マルクス経済学の貢献をとり入れてその理論体系に新しき意義をあたえている点、本論文は経済学博士の学位論文として価値あるものと認める。